

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	間伐材利用モデル施設整備事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
						1	6	2	2	26	3	0
部等名	産業経済部	課等名	林務課		包含する細々目							
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等	森林法、森林・林業基本法、林業・木材産業構造改革プログラム、飯田市森林整備計画、第6次緊急間伐総合対策、バイオマス・ニッポン総合戦略、地球温暖化防止吸収源10ヵ年対策、長野県産材利用指針、長野県森林づくり条例					
		事業期間	18	年度～	18							

[Do](1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	飯田市内の公共施設	新築や改修整備予定の公共施設	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了した年度とする	
			1			
	飯田市産木材を使った公共施設を整備し、地域材の普及を図る	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
			18目標	1	最終目標	
	木造・木質化施設整備件数(棟)	18実績		19目標	3	↑
23目標			23実績		最終目標達成年度	
飯田市産木材使用量(m3)	18目標		最終目標			
	18実績		19目標		↑	
		23目標		23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	公共施設等を木造で建築するか、もしくは内装を木質化を実施することにより、木のよさ暖かさを実感できるような施設整備をする。使用する木材は原則として、飯田市の森林から伐採され、製材されたものをふんだんに使用し、地域林業木材産業の活性化を図る。	木の香る学校推進事業 内装木質化 私立保育園への助成 木造公共施設整備 千代山村広場交流施設	公共施設整備数(棟)	1
	18年度の実績			
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	6,500	
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	8,893	
	事業費計(A)	15,393	0
人件費	正規職員所要時間	18年度 90	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	322	0
	トータルコストA+B	15,715	0

特定財源内訳や補足事項
木造公共施設整備事業(森林づくり交付金(国1/2、4/10))、木の香る学校推進事業(県定額)

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	出荷額を高める活動をする	林業生産額(億円)	現状値	7	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	7.5
	経済的自立度(%)		現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	60	

この事業を開始したきっかけ 地元木材・製材業者や林業関係者、市民などから地域産材利用の高まりがあり、また、域産域消で地域内産業の活性化につながると考えたから	事業を取り巻く状況の変化 木材価格の低迷のため、地域材利用の建築が低下し続けているが、最近では健康安らぎなど見直されてきている	事業に対する市民や議会の意見 地域産木材利用を推進するためには、飯田市自らが率先して利用するべきという声がある。
---	--	---

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 地域木材を飯田市が積極的に使用することにより民間需要を促すと考えたから	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) 公共施設整備における木造・木質化が増えれば向上する。
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 多くの一般市民など不特定多数の人が直接見て、触れることのできる公共施設が木材利用の促進にはもっとも効果的である。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) モデル的施設がないと実感できず、利用が進まない。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 地元の木材を使用することにより、木のよさを実感でき、木材需要が高まることで、地域内産業が活性化する。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 類似事業なし (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 公共施設整備である。		効率的に、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由) 現在ではコスト高。
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 市内公共施設整備で市民全体に恩恵がある。

【Plan】改革改善

今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 搬出間伐の推進、地域材利用普及啓発等の他事業、他産業との連携しながら実施することが必要
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	現状では価格面で不利

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	